

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
市民病院	福田	市民病院に行くと、11時頃、看護師長が外来の患者にお茶を配っている。事務員がすればいいのではないか。また、お茶が置いてあって、「ご自由にお飲みください」とあるのだから、わざわざ配る必要はない。人間ドックで来ている人など、飲んではいけない人もいるはず。  それならば、あいさつなどの声掛けをすべきだが、あいさつは全然していない。	お茶を配りながら、患者さんの様子などをみているのだと思う。  病院に確認してみる。	ご指摘の看護師長は、看護局長です。患者満足度向上の一環で配茶サービスを始めた当時の事だと思います。待ち時間に気軽にご利用いただけるように開始当初は声掛けをしていました。あわせて患者様の様態やご質問、またお困り事があった時などの対応をしておりましたので、医療知識のある看護職員が担当しております。現在は、配茶サービスも定着したため、同様の取り組みはしておりません。
建設課	福田	昨年、干田川流域のポンプについて、発電機の故障で1時間停まった問題についてお聞きしたが、その後の状況はどうか。  20分で復旧できれば、避難準備情報がでるような状況にはならなかったはず。	ポンプの増設について、要望を続けている。連携については、建設課と河川事務所でも協議をすすめている。  機械のことなので、絶対に壊れないという保証はないが、昨年のごことを教訓にすすめていきたい。	故障を起こした発電機は分解整備により修理が終了しています。なるべく復旧の時間が短いに越したことはないですが、故障内容にもよるため復旧時間の約束はできません。今後の対策としては、故障をできるだけ起こさないように日々の点検や試運転(毎月1~2回行う年間17回の定期点検)により、不調を早い段階で見つけることができるようにしたいと思います。
建設課	福田	土地改良区の役員をやっている。ここで言うのがふさわしいかどうか分からないが、要望について相談したい。市道で、6メートルの道から3メートルの道に入るところがある。法面があって、入りにくい場所がある。車が落ちることもあるし、人身事故等も頻繁に起こっている。前部落長さんが建設課と協議をしているが、いま一度検討をお願いしたい。  現地を見てもらったところ、鉄板をかけたなら段差ができて、かえって危ないが、橋を直すには多額のお金がかかるため、すぐにはできないということだった。	現在、道路などの関係では、多くの要望をいただいているが、市町村によっては、要望の受付期間を決めて、どこまでできるか返答しているところもある。そういった方法を取り入れることも検討したい。	橋梁の拡幅等様々な方法により実施可能かどうか検討を行っています。
福祉課	福田	福祉や高齢化対策ということはすでにお考えと思うが、市の福祉担当部署や、社会福祉協議会、スマイル、ゆめトピアなど、たくさんある。ここへ言うとおけば他の部署にも伝わる、というのがあるべきと思うが、伝わっていないようである。  社会福祉協議会の安全カプセルなどは、高齢者の一人暮らしや二人暮らしの人のみが対象で、子や孫と同居している人は対象から外れている。しかし、同居している家族は不在がちな家もある。高齢者がいる家庭すべてに、希望の有無を聞くべきではないか。  福元グリーンタウンが先進地として始めて、テレビの取材などを受けたこともあり、社会福祉協議会が事業を始めた。  市や社会福祉協議会にいちいち届出をしないといけないとなると気軽に始めにくいので改善した方がよい。  若くして持病をお持ちの人もある。希望者が利用できる仕組みにすべき。	検討する。社会福祉協議会にも話をしてみる。	それぞれの部署で受けた相談等は関係する部署へ報告、連絡、相談をするよう徹底しました。  安全カプセルは「瀬戸内市災害時助け合い台帳申請書」を提出することにより交付されます。高齢者世帯や障がい者以外にも希望される方は申請ができます。地区の民生委員さんへの申し出も可能です。ご面倒ですが申請をお願いします。

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	豊原	東谷には救急車が転回する場所がなく、先日も個人所有の私道を使用した。この道を市道にしてほしい。県有地があるので、市道に2、3枚床板をかけて拡幅すればUターンできるはず。建設課にはまだ伝えていないが、議員はこの内容を承知しており、実施の見込みがあるとの話をもらっている。	建設課に確認する。	平成25年7月に工事を完了しています。
下水道課	豊原	下水道の接続状況を知りたい。またそれに対する市の考えは。	数字ははっきり把握していないが、本市は低いと思われる。接続自体は法律に定められた義務であるが、それぞれの家庭の経済状況もあり、厳しい対応をとることが難しい。バランスをとる必要がある。	平成24年度末現在の接続率は64.3%であり、半数以上の方に接続していただいているところです。接続については法律で定められていますが、昨今の厳しい経済状況、少子高齢化などにより接続率100%には至っておりません。なお、市では、平成25年度から接続に際して少しでも負担を軽くするために融資斡旋および利子補給の制度を拡充し利子の全額を補給する制度としたところであり、各家庭を訪問し接続に対しての理解を求めていくよう取り組んでいるところです。
建設課	豊原	大窪神社から東に伸びる参道は、自転車の往来が激しく、夜間も暗いため、事故が発生する危険性が高い。また、通学路でもあり、拡幅してほしい。なお、以前建設課には要望を行っている。	地元からも建設課へ強く必要性を伝えてほしい。境内地であり、神社庁の許可が必要ではないか。	境内地であり、用地の提供が可能でなければ拡幅は難しいです。
建設課	豊原	渇水時にポンプの稼働が困難な場合がある。圃場整備の効果が出ていない。岡山市が関係するため、話が進んでいないのではないかと。もう少し岡山市に対して強く要望してはどうか。	産業建設部長から話はしており、予算を計上して設計を行っているが、県に対しても実現に向けて、さらに協議を進めていきたい。	農業用水の慣行水利権の話で、取水団体へ関係団体を通じて話をしてもらっていますが、同意が得られていない状況です。
建設課	豊原	釣り公園の駐車場の中央に電柱が建っており、車両の衝突事故も発生している。設置の必要性がないと思われたため、建設課に2年ほど前に移設を要望したが、予算の確保、中電との協議等が必要といわれた。再度移設を検討してほしい。	自治会から要望書を出してほしい。自分からも伝えておく。	前の担当者から、移設は難しいため地中への埋設を検討したが、工事費がかなり高額であったため実現できなかったと聞いています。もう一度方法も含めてあらためて検討したいと思います。

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	今城	ブルーラインの法面について、管理が道路公団から県に代わって、法面の草刈りが一部しかできていない(法面上側1メートル)。しっかり管理してほしい。  市もいづらか予算を出して、法面の草刈りをしては。	県に問い合わせたが、一般県道と同じ扱いなので今刈っている辺りまでしか刈れないということである。今後も継続的に県に働きかけていきたい。  県道に対して市が予算を出して草刈りをする事ができるか、難しい課題である。	県に強く要望していきます。 建設課が管理している市道の草刈りにおいても、すべて網羅出来ていないため、県道に対して市が予算をつけて草刈することは非常に難しいです。県道の草刈等に通行の異常があった場合には連絡をしてください。県へ要望します。
建設課	今城	瀬戸内市は災害に強いという話だが、昨年干田川のポンプがとまった。夕方には雨が止んだにもかかわらず朝も水位が下がっていません。干田川の排水能力を検討してほしい。	干田川のポンプは、発電機の故障でとまった。国の管理になる。オーバーホールを行うなど維持管理に努めている。干田川についても、要望活動を国会議員にしている。今後も継続的に働きかける。国が動いてくれないと、前に進まない。	ポンプの点検については毎月1～2回で年間17回の定期点検を行っており、さらに点検強化を国に要望します。 干田川改修促進期成会にて県、国に対して改修要望を行っていきます。
建設課	今城	道路拡幅の関係で要望書を出すのがなかなか対応してもらえない。上寺など救急車も消防車も入ることができない場所もある。要望を聞いてほしい。	要望書について、現状は常時受付をしている。受付期間を設け、それに対して返答をするなど、要望に対する対応状況が示せるように検討したい。担当課にも要望書の対応について見直しを検討させたい。	現在は、要望を随時受け付けてはいますが、課の中で要望書が出てきた時の対応についてマニュアルを作成しています。内容によっては、対応が困難なものなどあると思いますが、対応できるものできないものを、課の中で整理をして返事をするようにしていきたいと考えています。
経営企画課	今城	大富駅が開通50年になる。利用者も多いので、整備してほしい。難しい問題だと思うので、関心だけは持っていてほしい。	大富駅の辺りが農振地域であり、県に働きかけて農振を外す協議をした。また宮下についても工業団地の件で農振解除の協議をした。一度には難しく優先順位もあるので、宮下が落ち着いたら大富についても働きかけたい。区画整理を行うと都市計画が絡む。なんとか都市計画を敷かなくてもよい方法でできないかも考えている。	市内3駅周辺の整備については、合併前からの大きな課題でもあり、旧邑久町においては、「邑久・大富駅前開発構想」を策定し、合併時の「重点プロジェクト」とし、「第2次瀬戸内市総合計画」においても駅前開発の促進の必要性は十分認識していますが、駅前の再開発や駅舎の整備等に係る負担は、基本的には市の負担となるため、今後厳しい財政運営が見込まれる中、新規の大型事業を実施していくことは困難な状況ではありますが、今後もJRに対し強く要望していくとともに、行政改革を行い、財源を確保する努力をしていきたいと考えております。

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	今城	赤穂線沿いの草が伸びて、運転中危険である。どこにお願いしたらよいか。 今城地域の赤穂線沿いではないが、同じ要望をJR 岡山支社に提出した。その後保線区に要望が伝わるようだ。	市もJR に要望に行っている。JR 駅のトイレの件も含めて要望したい。	JRへお願いします。
錦海プロジェクト推進課	本庄	錦海はポンプで水を出しているが、堤防などは、いくらか国からも改修の費用も出るのではないか。	錦海塩田跡地のポンプは、市がまわさなければならないと考えているが、堤防については、国・県に交渉していきたいと考えている。	4月に公表した「錦海塩田跡地活用基本計画」において、地震、津波等の自然災害に対する背後地の防災対策のため、堤防への防潮堤の設置を対応案として検討を進めることとしています。  堤防の管理については、堤防の管理手法、管理主体を含め、「錦海塩田跡地活用基本計画」に基づく活用方針を示した上で、県との協議を進めています。  引き続き、県との協議を重ね、まず、第一に単なる市の財産である堤防区域が、津波等の被害から防護すべき地域として、法律(海岸法)に基づく「海岸保全区域」に指定され、国からの財政支援がなされるように取り組んでいきます。
下水道課	本庄	公共下水道の進捗度は？もう少し早く進めてもらうわけにはいかないのか。公共下水道が病院や図書館より先ではないかと思う。  公共下水道がこないところには、それを早く教えてほしい。	ある地域で、公共下水道が来たら接続するかというアンケートをしたところ、つなぐと回答した割合は4分の1ほど。簡易水洗のままでもいい・合併浄化槽のままが良いという意見が多かった。合併浄化槽の普及する前なら話も変わったのではないかと思うが、公共下水道はお金がかかる。工法によっては、1メートル引っ張るのに50万円かかるほど。公共下水道が100世帯で6億円くらいかかるのに対し、合併浄化槽は100世帯で6,000万円ほど。それを考えると、また、公共下水道はやるところは早くやらないといけませんが、やらないところは合併浄化槽で、ということも考えなければいけない。	平成24年度末現在の普及率は37.5%であり、県の平均64.4%を大きく下回り他市町村に比べて非常に遅れており早急な整備が求められているところであります。市では中期財政計画を立てており、その中で下水道事業については延伸とされており投資できる財源は限られております。限られた財源の中で効率的に整備を進めている状況でございます。整備については、管を伸ばしていくことを行いますので処理場を中心としてだんだんと広がっていくようにしか整備できないため処理場から距離がありますと整備に相当の年月がかかってしまいます。下水道の整備については、整備計画図を作成して周知を図っているところでございます。

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	本庄	南北道を南に延長するという話があるが、本庄の住民にしてみれば、それよりも県道よりも一本南の農道を拡げてほしい。	千町の農道を計画的に整備していくのであれば、都市計画が必要だと考えている。財源もない。現在、都市計画を入れた方がいいのかどうか検討している。ただし、市街化調整区域を取り入れると、やりにくくなる。市民の皆さんにご負担をあまりかけない形で都市計画を取り入れられないかと考えている。南北道は、費用対効果を考えると、財政への負担はあまりない。しかし、南北道の延長は投資の部分であり、市民の皆さんからの要望を聞かずに新しい道を作るのか、という話も当然あり、賛否両論ある。どちらをとるのか、慎重に考えていきたい。	場所の特定が出来ませんが、地元要望書が出れば検討します。当初想定していた概算金額よりも大幅に事業費がかかるため、今後の実施計画におきましては、長引く経済不況のなか瀬戸内市の財政状況は悪化し、新規路線の財源確保が難しくなり、中期財政計画において事業休止の判断となっております。引き続き財政状況、交通状況を見極めながら検討を進めていきたいと考えております。
建設課	本庄	農道がだいぶ崩れているが、財政が悪いためなかなか補修してもらえない。また、石垣などもだんだん崩れてきている。市が直すという話になぜならないのか。  それでは、農道が崩れて家が潰れてなくなった場合には市は保証してくれるのか。	農道は受益者が1割負担。  受益者負担ではないかと思う。また、建設課と相談したり、場合によっては要望を出してもらいたい。	瀬戸内市全域の農道を管理することは難しいため、地域の方の協力により、成り立っています。崩れている箇所を、要望書により提出していただきたいと思います。数多くの要望が出てきていますが、その中で、緊急を要するもの、そうでないものを整理しながら、対応していきたいと思います。財政が厳しい中、軽微な修繕等については、地元の方に協力していただき、材料支給などにより対応していますが、工事費がかかるものについては、国・県の補助を受けられるよう、事業化に向けて検討をしています。
経営企画課	本庄	市役所の増築をして、牛窓にある教育委員会や長船にある福祉を1カ所にまとめて便利にしてほしい。	市民の皆さんにとって不便であるが、まず市役所、というのは市民の皆さんからの理解が得にくい。分庁舎方式は、仕事の能率を落としている部分もある。例えば、会議や打ち合わせがある時の移動時間や、会議の時間がかかったときの待ち時間などが発生する。しかし、例えば本庁にまとめるとなると、邑久の方は便利になるが、牛窓や長船の方は不便になる点もある。合併特例債が使える期間が、平成26年度までだったのが、東日本大震災の関係で平成31年度まで延びたので、それまでにどうするかを決めていかなければならないと考えている。	平成23年度の個別外部監査における報告書の中で、市役所の機能を一か所に統合させれば、効率的な行政運営が可能であるとの結果となっておりますが、これには当然財源も伴うため、将来の庁舎を含めた施設の統廃合については、個別外部監査の結果を踏まえ、「まちづくり会議」の中でも検討していくこととしております。
建設課	本庄	ブルーラインの下の道路を拡げるという話が4年前にあり、県の説明会では今後5年でやる、ということだった。しかし、その後用地買収すら進んでいない状況である。  進展がないならしないで、最初に説明会も行っているのだから、状況について説明があってもいいのではないか。	すぐやる段取りで進んでいたが、その道路の下に埋まっている灌漑のパイプラインが、今の強度ではもたないため移動させるかやりかえるしかなく、そのための費用は全額を市が負担しなければならないということで、前に進んでいない。	灌漑パイプラインの本管移設および道路高さの問題があるため以前のルートを見直して、別ルートについて県が検討中です。

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
錦海プロジェクト推進課	玉津	<p>メガソーラーがらみで、市民が事業を立ち上げるときに市がフォローしてくれるのか？市が仲介してIBMなどと橋渡ししてくれるのか。</p> <p>ソーラーパネルの枚数に対し、どの程度雇用が生まれるか把握しているか？</p> <p>堤防の維持管理については特に話は出ていないのか？</p> <p>中に施設があって、堤防が切れてすべてがだめになるようなことのないように</p>	<p>下請けには市内事業者が入れるようお願いしていく。こんなこと(事業、サービス)が錦海付近で必要になるのでは、というアイデアがあれば、ぜひ情報をいただきたい。錦海プロジェクト推進課が窓口になると思う。ただし、事業アイデアに対して市がお墨付きをつけるようなことは難しい。</p> <p>まだわからない。事業者の提案を受けた段階であり、まだ具体的になにをやる、と決めたわけではない。メガソーラーは手段。地域の経済をどうやってまわしていくかを考えている。ぜひお力添えをいただきたい。</p> <p>事業者が維持する話にはならない。市あるいは県あるいは国が維持をするものと認識している。今、国や県に引き取ってもらえるよう相談していきたい。</p> <p>ふつうの地震なら崩れることはないが、ものすごく大きな地震に耐えられるかどうかわからない。ただ、東日本大震災でも大きな堤防が崩れ去ったことから、そのような地震に耐えられる堤防をつくることは現実的ではない。市が大きな負担をしなくてもいいように交渉をしている。国にもお願いに行っている。</p>	<p>事業者との基本協定において、事業者は事業実施に支障のない範囲で、地元企業の優先的な参入について、努力するものとしています。ただし、事業実施・発注は、連合体が事業主体として行うものであり、市は、行政機関として、連合体に対して個別の業者の斡旋、紹介はできません。</p> <p>4月に公表した「錦海塩田跡地活用基本計画」において、地震、津波等の自然災害に対する背後地の防災対策のため、堤防への防潮堤の設置を対応案として検討を進めることとしています。</p> <p>堤防の管理については、堤防の管理手法、管理主体を含め、「錦海塩田跡地活用基本計画」に基づく活用方針を示した上で、県との協議を進めています。</p> <p>引き続き、県との協議を重ね、まず、第一に単なる市の財産である堤防区域が、津波等の被害から防護すべき地域として、法律(海岸法)に基づく「海岸保全区域」に指定され、国からの財政支援がなされるように取り組んでいきます。</p>
建設課	玉津	<p>消防署の前に立派な道路ができている。本庄交差点から尾張に向かう細い道はどうするのか？</p>	<p>ブルーラインの下からバイパス道路を通す予定だった。昨年、予定していた道に灌漑用パイプラインが埋まっていること、パイプラインが交通量に耐えられないことがわかったこと、移設する費用が莫大にかかることがわかったことから、別の道を考えている。現在の佐井田の道路を広げることは難しい。</p>	<p>県がルート検討中です。</p>
生活環境課	笠加	<p>ごみ問題の進捗状況は。</p>	<p>現在5%前後の減量率。ざつ紙が全体の30%程度であり、これを全部減量できたら達成できるが、難しい。引き続きごみ減量の意識が高まるような取り組みを行っていきたい。</p>	<p>平成24年度末のごみ減量率は8.4%(可燃ごみだけだと9.0%)。わずかではあるが前年度を上回っています。当初予定では平成22～24年度の3年間の取り組みとしていましたが、25年度も引き続き、目標達成に向けて取り組みます。</p>

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	笠加	県道69号線に沿った干田川の西側の1メートル半くらいの幅の道に保護柵がない。水面から道路までは深く2、3メートルぐらい。東側の自動車を通る県道にはガードレールがある。西側の道を高齢者が歩いたり、中・高校生が自転車で通学していて、誤って川に落ちたら危ないので、対応してもらいたい。10年以上前にも、こういう場で、町役場の職員等に対して、名乗って同じ内容の意見を言ったが対応してもらえていない。	市道の場合は、対応できるかもしれない。農道の場合は、防護柵が設置できるかどうか確認はしてみるが、対応は難しいかもしれない。土木委員から建設課に相談をあげてみてください。	農道の場合でも、車輛、歩行者等の安全かつ円滑な交通を図るため、必要に応じて交通安全施設を設けています。土木委員に相談して、要望書を提出してください。
生活環境課	笠加	ごみ問題。モデル地区を決めてピンポイントでの取り組みを進め、それを市内全体に奨励してはどうか。	長船町福岡ではコンテナをおいて、ストックヤードで回収していて、モデル地区といえる。旧町単位でモデル地区を作っていくのも良い考えであると思う。	長船地域以外でもモデル地区候補を探していますが、ある程度の土地を必要とするため困難となっています。現在市内のごみ分別統一に向けた作業を進めているところであり、その中で新たな収集品目も検討を進めています。
建設課	笠加	交通弱者の問題。県道は子どもの通学路になっている。笠加コミュニティ前、和菓子屋から農機具屋まで、山手から市民病院前への道の県道の路面に水たまりができる。それを自動車やトラックがはねて、通学中の子どもに水がかかる。県の管轄かと思うが認識しておいてもらいたい。	県に要望をする機会もあるので、要望をしていきたい。	笠加コミュニティ前は県道であるので県に要望しています。ただ現在、大阪ガスが工事を行っているためすぐには対応できないとのこと。和菓子屋から農機具屋まで、山手から市民病院前の道は市道であるため随時舗装修繕を実施していく予定にしています。今年度は山手から市民病院前の舗装修繕を実施する予定です。

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
危機管理課	裳掛	<p>昨年度防災関係でお世話になった。それぞれの地域で自主防災組織をつくりたいが盛り上がってこない。海拔表示ができると聞いたが、市はいつ取り組むのか。地図に標高を落とし込んだものがほしい。避難場所が標高何メートルかというものとか。</p> <p>海拔表示がどこでもわかるように。電信柱すべてについていけば結構見やすいのでは。</p> <p>海拔を簡単にはかれる物はないか？</p> <p>ふつうの台風でも高潮になりそう。堤防を高くしてほしい。</p> <p>高潮の際に、車の避難所として出張所北、愛生園の官舎だった土地を買ってもらえないか。道路環境にもよいのでは。</p>	<p>(総務部参与) 海拔表示の要望は他の地区からもいただいている。沿岸部を中心に来年度表示したいと考えている。県の浸水予想の周知とあわせて実施したいと考えている。どういものに取り付けられれば周知が進むかも考えていきたい。避難場所も皆さんの意見をきいて見直しを考えたい。地図も詳細なものを作成したい。</p> <p>(総務部参与) 参考にさせてもらう。</p> <p>(総務部参与) GPSなどで誤差はあるが、だいたいの標高をはかれる。</p> <p>(市長) 岡山県も震災後、かさ上げについて新たな計画をたてていると思う。すぐにやってもらえるかどうかは不透明。ハード事業もやるが、皆さんには災害発生時にすぐ逃げてもらいたい。また備蓄などもお願いしたい。ハード事業については要望をあげていく。海面が高くなっているところがある。今後も強く要望する。</p> <p>(市長) 防災事業中でのお願いとして、車より人の命。車を動かす場所について、地域の中で考えてもらいたいと思っている。</p>	<p>海拔表示については、平成25年度末までに沿岸部を重点に瀬戸内市内500箇所に設置予定。市民の方から設置希望場所を聴取して付近の電柱に設置をします。</p> <p>また、今年度新たに作成する津波ハザードマップについては、避難場所の海拔を表示し、全戸配布する予定にしています。</p> <p>海拔については、国土地理院のHP (<a href="http://saigai.gsi.go.jp/2012demwork/checkheight/index.html">http://saigai.gsi.go.jp/2012demwork/checkheight/index.html</a>)でもチェックすることができます。</p>
いきいき長寿課	裳掛	<p>特養設置のスケジュールは？</p>	<p>今年度中に特養の事業者を決定、来年度に設計、再来年度着工、オープンは27年度、というスケジュール。どこに建てるか、国との折衝を進めている。光ファイバーについても、来年度あるいは今年度補正予算での対応を国が考えている。市がそれと連携し、裳掛地区に光ファイバーを敷設するよう考えている。</p>	<p>【特別養護老人ホーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設整備事業者決定のための選考委員会を平成25年3月21日に開催し市長に答申、社会福祉法人 愛あい会に決定。施設の建設場所は、邑久光明園地内。</li> <li>○平成25年4月より国と利用及び借地の手続き中。</li> <li>○現在、県へ補助金交付申請のための申請書類を作成中。(平成26年6月～県承認予定)</li> <li>○平成26年8月建築入札、着工。</li> <li>○平成27年4月開設。</li> </ul>
危機管理課	裳掛	<p>自治会で防災マニュアルをつくる、ということにしている。どの辺までのマニュアルが望ましいか、市に聞いてみたら他の事例がない。雛形のようなものがあれば。</p>	<p>(総務部参与) 別途相談させてほしい。</p>	<p>「自主防災組織の手引き」を参考にさせて頂ければと考えています。その他の事例や雛形などの資料必要であれば可能な範囲で提供します。</p>

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
まちづくり推進課	裳掛	<p>移動困難者のための取り組み、介護タクシーのようなもの、についてどう考えているか。福祉有償運送にしてもタクシーの半額程度の負担がある。西大寺まで1500円、岡山市中心部まで2000円程度。自宅から出られない人のための支援をしてあげると考える。今後の市の予定は？</p>	<p>介護保険の仕組みの中で考えて行かざるを得ない。また、地域の中でそういった方をお手伝いできる仕組みがあれば。モーモーバスにしてもかなり税金を使うことになり、納税者に負担をかけることになる。地域と行政の役割分担ができれば、きめ細かいサービスが展開できるかもしれない。自宅から出られない移動困難者の交通手段も含め、市全体の交通のあり方を考えなくてはならない。検討課題として持ち帰る。</p>	<p>路線バス、タクシー、福祉有償運送、介護タクシー等の利用状況の把握とモーモーバスの実証運行結果の検証、アンケート調査結果も考慮した今後の市全体の交通のあり方を検討しています。また、地域と行政が連携した生活交通の新たな取り組みを他市の事例も参考にしながら研究しています。</p>
産業振興課、まちづくり推進課	裳掛	<p>畑があれいている。空き家もある。市外からやってきて農業をしたい、という者に貸す仕組みはないか？</p>	<p>空き家の紹介をしている。</p>	<p><b>【産業振興課】</b> 新規就農者等の確保・育成のため、岡山県が就農促進トータルサポート事業を実施しています。ガイドブックで県下市町村を紹介し、希望する受入地域で就農オリエンテーション、農業体験研修を受けられるようになっています。瀬戸内市も受入れ中であり、この事業により瀬戸内市に定住し、就農されている方もあります。農地の貸し手についても受入れ農家や市で情報提供をしています。</p> <p><b>【まちづくり推進課】</b> 空き家対策については、現在市ホームページで空き家バンクとして情報提供を行っています。空き家を売却または賃貸したい方、空き家を購入または賃借したい方双方に空き家バンクに利用登録をしていただき、物件情報や個人情報を提供しています。</p>
経営企画課	裳掛	<p>小学校の廃校については考えていないと発言があったが、裳掛出張所についてはどう考えているか。</p>	<p>今は考えていないが、診療所、出張所を存続という声がある。それには年間数千万の維持費用がかかっており、反対に尾張に出て行く足がない、という話もある。施設を維持する金を足の確保に回すこともできるという議論がある。その辺りのバランスをどう考えていくか、また相談させてもらいたい。</p>	<p>瀬戸内市には、高度成長期からバブル期に建設された庁舎、公民館、学校施設等が多いため、まちづくり会議の方針を踏まえて検討を進めることとしております。厳しい財政状況の中で、できるだけ市民サービスを低下させないよう、既存施設の整理統合、民営化、他用途への転用、遊休資産の処分等も視野に入れながら、公共施設のあり方を検討していきたいと考えています。</p>

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
総務学務課	国府	<p>岡山県は全国でも学力が低い県である。その中でも瀬戸内市と赤磐市の学力が県下でも低い状況となっている。学力だけでなく、いじめや非行、不登校なども増加傾向である。学力向上に向けてどうすればよいか、具体策が見えてこない。市民に学力向上計画を示し、学力向上に向けての機運を高めてほしい。また学力向上の基本は勉強時間である。近年、学校は休みが多い。警報による臨時休校も多い。学校での勉強時間を増やすことを検討すべき。振替え出校や長期休みを数日間短縮させるなど検討してほしい。</p> <p>学力向上の基本は勉強時間である。土曜日の授業を行っている私学もある。</p>	<p>学力調査は、抽出校で行うので単年度ではバラつきがあり検証しにくい。市が独自にやっている学力調査で学力の伸びをみていきたい。不登校問題については、邑久中学校が地域ぐるみで学校を支援する地域本部を立ち上げ、不登校生徒が減っている。この取り組みを広げるために、もっと市民の方にお知らせして、地域みなさんが協力してくれるようにしていかなければいけない。</p> <p>一部では土曜日に授業を再開しているところもある。運用で工夫していきたい。</p>	<p>学力と問題行動には大きな相関があり、学力向上をめざすためには、まず問題行動を減らし、「落ち着いた学習環境」という土台をきちんと作ることが大切です。しかし、問題行動への対応が手一杯で、学力向上までなかなか手が回らない学校もあります。学校の教員のみならず、学校支援地域本部の皆様のお力を借りながら多くの大人たちの見守りの中で子供たちの規範意識を育てていきたいと考えています。</p> <p>学力については、市、県、全国の学力・学習状況調査の結果分析を行い、市内全ての学校で「学力・学習状況改善プラン」を作成して学力向上にむけた取組を行っていますところであり、「授業」については「わかった・できたが実感できる授業づくり」の徹底を、「学習時間の確保」については、放課後学習や夏休み中の特別学習の取り組みを、「家庭学習」については、家庭学習強化週間やノーメディアデーの設定をそれぞれ行っています。国府小学校でも、毎週月曜と金曜日に放課後学習を実施し、夏休みには水泳練習の前に算数教室を開催しております。</p> <p>臨時休業に対する授業時数の確保については、多くの学校が教育課程の作成段階で規定の授業時数よりも多く時数を確保しています。しかしながら、今後秋の台風や冬場のインフルエンザによる休業の可能性も考え、5校時授業の日を6校時にするなど時数の回復措置をとる予定の学校もあります。</p> <p>今後とも、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。</p>
危機管理課	国府	<p>災害の関係で、伊方原発が再稼働し、不測の事態による放射能漏れが発生した場合、風で瀬戸内市に流れてくるのではないかと。県は、島根原発については中国電力と協議をしているようだが、四国電力とは協議をしているのか。</p>	<p>距離的には100キロ以上離れているが、風や潮に乗ってくる可能性はある。県知事とも会う機会があるので、話してみる。</p>	<p>岡山県が岡山県環境保健センター等で月1回の放射線測定を実施しホームページで公開しています。 (<a href="http://www.pref.okayama.jp/page/332984.html">http://www.pref.okayama.jp/page/332984.html</a>) 原発事故が発生した場合、その設備により測定・発表することとなっています。</p>
危機管理課、建設課	国府	<p>長船町は水害が多い。干田川を改修しているが、福里、牛文、土師、磯上は浸かる可能性がある。避難所の長船町公民館も浸かる可能性があるし、耐震性もなく避難所としては危険。長船中学校は耐震性もされており、高台にあるので災害の心配が少ない。牛文の西町から上がる道を、中学校の南に通っている林道につなげ、また長船中学校の南のフェンスからも林道につながる道を作れば避難が容易になる。</p>	<p>来年度に避難所の見直し作業を予定している。その中で長船地域も検討する事となると思う。林道接続への道については、担当課に確認して検討する。</p>	<p><b>【危機管理課】</b> 防災対策に係るハード面は、それぞれの所管部署で対応することとなっています。 今回の要望事項については、学校施設所管の教育委員会へ伝えており、林道所管の産業建設部と調整及び検討する旨を引き継ぎしています。</p> <p><b>【建設課】</b> 林道の接続については、地元要望書が出てくれば検討をします。</p>

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	国府	<p>干田川の排水の問題で、昨年ポンプが故障して浸水の危機があった。ポンプは県が管理しているそうで、市が管理していればそのような危険がなかったのでは。管理を市が行うことはできないか。</p> <p>ポンプの増設はできないのか。</p>	<p>ポンプの操作委託は市が受けている。ただ、昨年は発電機が故障してポンプが動かなかった。その後オーバーフローしているので、今後とも点検を継続して有事の際にしっかり作動するようにしたい。</p> <p>国には要望しているが、なかなか応じてもらえていない。引き続き要望したい。</p>	<p>操作管理は国から市が直接受けています。どこが管理していても絶対に危険がないという話は難しいですが、前回の事故を受けて干田川排水機場を所管する国に分解整備による修理をしていただいています。今後の対策としては、故障をできるだけ起こさないように日々の点検や試運転(毎月1~2回行う年間17回の定期点検)により、不調を早い段階で見つけることができるようにしたいです。</p> <p>ポンプの増設は毎年国に要望を行っています。粘り強く要望を続けていきたいと思っています。</p>
建設課	国府	<p>大塚の水門から稲荷山、国府小学校までの県道飯井一宿線を二車線にするという話があったが、進んでいない。</p>	<p>県へ要望する際、市から優先順位をつけて行わなければならない。建設課と相談して優先順位の高いところから行っていきたい。</p>	<p>毎年、県へ要望を行っています。今年度から工事を行っていく予定です。</p>
総務学務課	国府	<p>子どもの通学路について、県道264号線(福里一八日市線)の県道69号線と交わるあたりから国府小学校までは、昔から道路が拡幅されていない。昨年、一昨年と接触事故があった。安全面を考慮し、拡幅できないか。</p>	<p>長船は道が狭い箇所がある。立ち退きなどの問題もあり、なかなか難しいのだと思う。都市計画を敷かないと進まないが、昔に比べてメリットが少なくなった。計画的にまちづくりを進めるにあたり、都市計画を敷いて行う方法、敷かないで行う方法がある。もう少し時間をいただいて考えていきたい。</p>	<p>昨年度、警察、道路管理者、PTA、学校と連携し、通学路の合同安全点検を実施しましたが、その際にも県道264号線(福里一八日市線)は、危険箇所として上げられていました。対応内容としては、小学校付近ではポストコーンを設置して、歩行スペースを確保していますが、所々破損していたので、補修を行っています。また、道路沿いの水路に樋門管理の出入口があり、そこに入って遊ばないように注意看板を設置しました。さらには、公民館東側の道路との交差点が見通しが悪くて危険であるということで、注意啓発用の看板を設置しました。ご意見をいただきました県道69号線(西大寺一備前線)との交差点までとなると、延長が長く、民家も点在していますので、事業費が多くなることを見込まれます。一度に整備するのは難しいと思いますので、部分的な実施、もしくは、計画的に進めてもらうよう、市建設課を通じて県に対し、要望していきたいと思っています。</p>

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	行幸	<p>工業団地の近くに住んでいるのだが、通勤時間帯には非常に交通量も多く、子どもたちの交通事故が心配である。企業を誘致する前に、交通の問題について考えてもらいたい。</p> <p>道をひろげるだけでなく、ひとつの道を通らず分散するように考えてもらいたい。交通渋滞ではなく、交通量が多いことが問題である。</p>	<p>地権者にご協力をいただけるところについては、道をひろげていきたいと考えているが、なかなかご協力をいただける所ばかりではない。都市計画があれば、家の建て替えなどの際に、家を道から引いて建てるセットバックの規制がかかり、自然と道がひろがっていくが、瀬戸内市は都市計画がないのでそれもできない。</p> <p>分散させるためには計画的な道路を作る必要があり、そのためには都市計画が必要になってくる。しかし、都市計画をつくると、市民の皆さんにご負担を強いる部分も出てくる。都市計画を導入するのがいいのか、しないのがいいのか、現在検討している段階である。</p>	<p>部分的に歩道がないベネッセ前の区間については、地権者に協力をお願いしながら歩道設置に向けて今年度設計を行う予定です。</p>
総務学務課	行幸	<p>以前、行幸小学校であいさつ運動を行っていたことがあった。当時は、ワッペンなども作って配られた。ワッペンをつくるかどうかはともかくとして、あいさつはタダでできることであり、あいさつを原点に、教育などについても考えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、校門の前に役員、先生方が立ってあいさつ運動をやっている。</li> <li>・私も、小学校の校門前に毎月立っているが、自分から声を掛けてくれる子はほとんどおらず、こちらが声を掛けても、あいさつを返してくれる子すらあまりいない。</li> <li>・見返りを期待してはいけな。今の行幸地区の実状なのではないか。</li> <li>・朝散歩していて声を掛けると、みんな声は掛けてくれる。</li> </ul> <p>高梁市の宇治というところに、50年ほど前に行ったときに子どもが向こうから大きな声で「おはようございます」と言ってくれたのが、今でも心に残っている。</p>	<p>教育委員会でも、あいさつ運動については定期的にやっているが、もっと盛り上げていくためには、学校単位で力を入れていく必要がある。行幸小学校でも、地域支援本部を立ち上げている。その活動の中でも取り上げていただきたいと思っている。</p> <p>たとえば、「おはようございます」というのがいいのか、他にも効果的な声掛けがあれば、考えていきたい。</p>	<p>行幸小学校はもちろんですが、市内全小中学校で、毎月10日を基本として、「あいさつ運動」を行っております。学校支援地域本部が発足して3年目となる国府小学校では、毎週火曜日に地域のボランティアの方が、校門であいさつ運動を行い、徐々に成果が表れていきます。行幸小学校は、来年度から同様の取組を行う予定ですが、すでに「安全パトロールボランティア」に14名の登録があり、今後の活動や成果が期待されます。</p> <p>あいさつは、言われてできることではなく、その大切さを理解し、心地よさを実感し、その積み重ねが習慣化していくことが大切です。今後も学校生活のあらゆる機会に、日常的に指導するように努めます。</p> <p>また、教職員が率先して模範を示すことが指導の効果を高めることとなります。折に触れ、教職員に対し指導してまいります。</p> <p>学校ではあいさつがよくできるが、家庭や地域ではできない、という声もよく聞きます。あいさつだけでなく、状況によっては、「いってらっしゃい」「おかえり」「気をつけて」など、言われて嬉しい声かけも、あいさつにつながる取組となります。子どもたちが生活場面の全てで、あいさつのシャワーを浴びるような、学校、家庭、地域が一体となった取組が行えるよう、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p>

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
産業振興課	行幸	再来年のNHK大河ドラマが黒田官兵衛に決まった。ロケの誘致などはしていく予定か。また、先般牛窓でも映画のロケが行われ、たくさんの方が見に行かれたようだ。今月25日に開催される黒田サミットのようなイベントをいろいろと立ち上げるのも地域の活性化にもつながるのではないか。	黒田サミットについては、大河ドラマの発表直後の良い時期に開催できることになって良かったと思っている。先日も、NHKの支局長とお話をする機会もあったが、ロケ地については、NHKにも働きかけをしていきたいと思っている。地元のご協力についても引き続きよろしくお願したい。	大河ドラマのロケ地及び官兵衛紀行の誘致についてはNHK放送センターを訪問し要望しました。ロケ地については時代劇であり現代物が映り込まないことが条件なので錦海塩田跡地を紹介いたしました。官兵衛紀行については「備前福岡」「刀剣の里」をアピールし好感触を得ることができました。今後も地元団体、住民と協働しながら大河ドラマ放映に向けPRします。イベントについては、毎月開催される福岡の市、年2回開催される福岡大市をバックアップしています。
経営企画課	行幸	小学生くらいのお子さんをお持ちのお母さん方から、子どもさんが遊べる場所を確保してほしいというお話をよく聞く。大きい団地ができれば、公園も設置されるが、設置の規定がないような小さい団地では、近所で子どもを遊ばせたくても公園がない。	今、長船の浄化センターをグラウンドゴルフで使っていただくことになっているが、そこを子どもさんの遊び場として使えないかなども考えていきたい。また、都市計画がないので都市公園もない。そういった点を考えると都市計画の導入も必要かもしれない。	都市計画の導入については、計画的なまちづくりとして公園、都市計画道路、区画整理事業などが推進できるメリットがある一方、住宅の新築・建て替えに際して規制がかかるなどの問題点も明らかになっていますため、現在、プロジェクトチームを立ち上げ、導入に伴う影響等、様々な議論を重ねています。
建設課	行幸	行幸橋という橋が昔かかっていたが、大水で流れた。聞かれたことがあるか？	勉強しておきます。現場も見に行きたい。	吉井川に昔かかっていた橋と理解しています。
まちづくり推進課	美和	1回目のミーティングでもお願いをしたが、美和地区は交通が不便で、今は足が悪い中、バス停まで20分かけて歩いて行き、10:30のバスに乗って、長船駅から邑久駅までJR、そこから路線バスで市民病院へ通っている。帰りのバスは、17:00しかなく帰りはタクシーで帰っている。タクシー代は3000円かかり、負担が大きく、病院も1カ月に1回しかいけない。うずいても薬で我慢している。美和地区にも、乗合バスをしてほしい。昔は西須恵まで備前バスが走っていた。市になって走らなくなった。補助金は？	まずは、高齢化率も高く、過疎債が使えることから牛窓で実施した。美和地区についてはもう少し、時間をいただきたい。デマンドバスを通すやり方と、路線バスを増やすやり方の2通りある。	路線バス、タクシー、福祉有償運送、介護タクシー等の利用状況の把握とモーモーバスの実証運行結果を検証しています。美和地区で実施した聞き取り調査結果も考慮した今後の市全体の交通のあり方を検討しています。また、地域と行政が連携した生活交通の新たな取り組みを他市の事例も参考にしながら研究しています。

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
福祉課	美和	地区社協から補助金がでているふれあい事業。火曜日と水曜日の2回していたが、今年から1回になっている。一人暮らしの年寄りが弁当を持ち寄っていた。1回になってさみしいという声が出ている。今まで通り2回にしてほしい。	ふれあい事業は、社協の事業になるので、私の方から社協に話をしてみる。	ふれあいサロン事業は高齢者の生きがいや仲間づくり、閉じこもり防止を目的として身近な拠点で活動していただいています。参加者で”集いの場所”として回数を増やし、活動していただくことが本来の目的でもあります。
市民病院、まちづくり推進課	美和	診療所に内科を復活してほしい。医療生協はあるが赤字になるのは、決まっている。全体で考えてほしい。医師不足ではあると思うが、今までどおり内科があったほうがいい。  上寺楽々園が北池にくるのはいいこと。南北道を通れば、病院も近いし、福田や久志良にも老人ホームがある。瀬戸内市で老人ホームを誘致したらどうか。	内科医は確保が難しい。また、医者がいても医療機器がないと十分な治療はできない。診療所に医者と呼ぶより、市民病院への交通手段を確保することも有効であるかもしれないので、引き続き検討したい。	<b>【市民病院】</b> 現在、瀬戸内市で見込まれる収支不足への対策を検討しています市の第三者組織「市まちづくり会議財政健全化部会」において病院・診療所の在り方を検討しています。改革案の中で美和診療所と牛窓診療所を廃止し、裳掛診療所は民間委託とすることが検討されています。 市では、改革案が実現可能かを判断し、平成26年度の当初予算に反映することとしています。  <b>【まちづくり推進課】</b> 路線バス、タクシー、福祉有償運送、介護タクシー等の利用状況の把握とモーモーバスの実証運行結果を検証しています。美和地区で実施した聞き取り調査結果も考慮した今後の市全体の交通のあり方を検討しています。 また、地域と行政が連携した生活交通の新たな取り組みを他市の事例も参考にしながら研究しています。
まちづくり推進課	美和	西須恵コミュニティ協議会会長が市役所へ提案にいと聞いていると聞いたが、瀬戸内市全体でウォーキング、遊歩道、散歩道を把握して、ホームページに載せたらどうか。	市民の方とルートを考えながらやればできるかもしれない。地図を作成するには費用もかかるが、市民活動応援補助金の活用も考えながら、市民と一緒にやっていくこともできるかもしれない。	地域の情報をお寄せいただき、郷土学習ルート、観光ルート、健康増進向けルート等、コースの検討が必要です。 また、交通安全対策や私有地が含まれていないかなどルート設定も注意が必要となりますので、市民との協働が不可欠と考えます。
産業振興課	美和	棚田で、農業体験ができる取り組みをしている他市の例がある。瀬戸内市でも畑を貸して、畑を作る体験を岡山市の方へ向けて発信していったらどうか。定住化にもつながるのではないかと。	安いと借りてくれることもあるが、場所が遠いと足が遠のきなかなか借りてもらえない。田んぼが荒れている現状もあり、今後の課題。最近、アグリビジネスコンテストも注目されているので、若い人に入ってもらってやっていきたい。	新規就農者等の確保・育成のため、岡山県が就農促進トータルサポート事業を実施しています。ガイドブックで県下市町村を紹介し、希望する受入地域で就農オリエンテーション、農業体験研修を受けられるようになってきました。瀬戸内市も受入れ中であり、この事業により瀬戸内市に定住し、就農されています方もあります。農地の貸し手についても受入れ農家や市で情報提供をしています。

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	美和	荒池の水が汚い。備前市から来ている。美味しい、害のない米を食べたいし、子どもたちにも食べさせたい気持ちはみんなあると思う。瀬戸内市から声を上げてもらえないか。合併浄化槽の設置や補助はどうか。	なかなかいい話にはならない。	要望活動を今後検討していきたいです。
危機管理課	美和	ため池をなんとかしてほしい。現在瀬戸内市には、ハザードマップが4つ(地震・津波・洪水・土砂災害)ある。西須恵に住んでいるが、西須恵コミュニティハウスが避難所になっている。コミュニティハウスは、土地が低いので、水害に遭う可能性がある。また、居宅はため池の斜め下。逃げ場所がないので、避難場所について、負担のかからない範囲で新設やコミュニティの移設なども検討してほしい。ある程度の箱物も必要だと思う。  見直しをするときには、ぜひ地元の意見を聞いてほしい。ため池の下に住んでいるが、避難場所が美和小学校になっている。	避難所の見直しは来年度予定している。災害の種類によって、逃げる場所も変わってくる。見直しは、1カ所だけではなく、全体的な話。逃げる場所がない場合どうするかなど、避難場所の確保には地元の方にも話を聞きながら進めていきたい。  どこに避難してというのではなくて、市民からここに避難するというのを考えてもらい、市は地域ごとの自主防災の取り組みのお手伝いしていきたい。	地域ごとに災害に強いまちづくりを推進するため、自主的な防災活動を行う自主防災組織の結成および活動の支援を図りながら、地域住民主導型による避難場所の選定が最善と考えています。また、新しい津波浸水想定図を基に説明会を開催し、住民ワークショップを開催し、避難場所・避難路等の見直しを検討をしていきたい。訓練の内容・方法については、お気軽に相談してください。
産業振興課	美和	佐伯から移住してきて農業をしている。美和地区の農業をどう考えているか。	自分も農家で育ち、農業が原点。誇りを持って農業をしていけるようにしていきたい。美和地区は基盤整備ができていないので、これを残すのは非常に大変。農業体験をするもの一つだが、まずは中心になる人をどう育てるかということが必要。人づくりに力を入れたい。行政の押しつけでなくて、アイデアがでてくる条件と環境を整えていきたい。	美和地区は水稻をはじめとした土地利用型農業を主体とした地域であることから、経営所得安定対策等を活用しながら同地区の発展を考えていきたいです。
産業振興課	美和	岡山は、関東方面から注目されている。瀬戸内市へ来たい人も多い。農業をしたい人の受入に力を入れてほしい。	錦海塩田の件とも絡めて、考えていきたい	新規就農者等の確保・育成のため、岡山県が就農促進トータルサポート事業を実施しています。ガイドブックで県下市町村を紹介し、希望する受入地域で就農オリエンテーション、農業体験研修を受けられるようになっています。瀬戸内市も受入れ中であり、この事業により瀬戸内市に定住し、就農されている方もあります。農地の貸し手についても受入れ農家や市で情報提供をしています。

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	美和	ため池改修の地元負担、受益者負担について、長船町の時代はなかったが、瀬戸内市になって話ができた。ため池改修の見直しをしてほしい。少しずつ予算をつけてやってもらいたい。	地元負担をどうするか。水路の改修は、地元負担をなくした。ため池については、他は地元負担をお願いしているので、ここだけ免除ということは難しいが、今後の検討課題とさせてもらう。	最近大規模な地震等により、多くの国民の命が奪われる災害が起こっています。これを受け、今年度より国よりため池の一斉点検を実施します。これにより、現状を把握し、修繕を必要とするため池については、修繕計画を策定していきます。
まちづくり推進課	美和	若者の呼び込みについて、美和地区はインターネット環境が悪い。NTTに聞いてもいつ整備されるか分からないといわれた。西須恵に住んでいるが、光ファイバの回線が来ない。どうにかならないか。	数年前に無線が来たが、新規加入は今受け付けていない。NTTと引き続き話をし、何とか解決できるようにしていきたい。	高速通信網は、NTTが計画的にエリア整備を実施しています。未整備のエリアにつきましては、引き続き要望を続けていきます。
まちづくり推進課	美和	先日赤磐の市民の集まる会合に参加したら、市民病院に対する要望がたくさん出ていた。瀬戸内市の市民病院はよくやっているし、武久市長はよくされていて、着実に進んでおと思う。今後も頑張ってもらいたい。市ホームページ2年ぐらい前まではよかったが、今は今一。また、市民にも市職員の顔が見えるようにしてほしい。	部長は顔写真を出している。今後、検討していきたい。	市ホームページにつきましては、市民の方からご意見ご感想をいただきながら見直しを行っていますので、メール等でご意見をお寄せください。市では、各部の経営計画書をホームページに掲載しており、その中で部長級職員の顔写真と役職、氏名を紹介しています。
産業振興課	美和	若い人を呼び込む施策について、祭を通して若い人と年寄りが交流して、経験などを継承していけるような仕掛けをしてほしい。	確かに現在は、地域の祭りは高齢者が中心。子どもフェスもあるが、お母さん方が中心。現在の市のイベントは若者を対象にしたものは少ない。若い人のエネルギーが爆発できるような仕組みを考えていきたい。	イベントへの市の関与は困難です。市民活動応援補助金を活用し、それぞれの地域でイベントを開催しています。

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
いきいき長寿課	邑久	<p>福祉のことを今のペースで増やしていったら、これから高齢者も増えるし、どんどんいくらでも予算は増える。もっと、予防などに真剣に取り組んでいかなければならない。</p> <p>長船にも福祉関係のたくさん課があるが、すべての人が満足するようにしようとすれば、いくらでもお金がかかる。</p>	<p>おっしゃるとおり、高齢者の方は増える。今のままの水準を維持しながらどのようにやっていけるのか、検討していきたい。</p> <p>具体的な案があればまた教えていただきたい</p>	<p>瀬戸内市としましても、介護保険料の抑制対策として介護予防の重要性は十分に理解し、介護予防の教室を各地区で月に2回は実施しております。</p> <p>認知症も介護保険と関わりが非常に大きく、そのために関係機関と協力し、今年度に認知症の講演会や勉強会などを計画しております。また、認知症介護家族のつどいなども実施しております。</p>
経営企画課	邑久	<p>税収について、当面の間は大丈夫という話だが、5年先、10年先がどうなるかわからないような状況。今までこうしてきたから使えばいいというのではなしに、もっと真摯に考えていかなければ破綻する。</p> <p>行政サービスを受けるのは、税金の範囲内というのが当たり前で、市民も、それ以上のサービスを受けたいと思うのは間違い。</p>	<p>毎年、10年先のことまでを考えていっている。10年先には、7億円足りなくなるという計算で、税金が入れば残せる部分もあるが、将来を楽観するのではなく、引き続き見直しを行っていききたい。</p> <p>市民の皆さんに、がまんしていただくところをどうやってがまんしていただくかが課題。</p>	<p>現在は、地方への権限委譲とともに行われた税源移譲により税収が増加していますが、全国で均一な行政サービスを実施するため経費を税収だけで賄えない自治体に対して国から交付される地方交付税は合併市町村に対する特例が終了するため減額されることが決まっています。その額は現在の試算で約12億円にもなり、通常の経費節減では平成33年度で7億円以上の収支不足が見込まれています。今後、更なる支出削減を行うとともに、削減策について、まちづくり会議からの提言を踏まえた大胆な事業見直しを実施してまいります。</p>
経営企画課	邑久	<p>不登校児童数が多い。小学校は県内で一番。市役所も、教育関係は牛窓、福祉関係は長船、というのも、現役世代は車に乗れるが、高齢者などはできない。これからは、どこの支所に行っても、どの手続きもできるようにしてほしい。</p> <p>市役所で書類を出そうとしても、いや牛窓に、と言われることが実際にある。</p>	<p>どの部署も一カ所に持ってくるというのが理想かもしれないが、それでは牛窓・長船の皆さんの利便性が下がる。1階の窓口については、教育委員会は一度にはできないが、福祉関係も一カ所で行えるよう平成25年度から改善する予定である。</p> <p>そのあたりの見直しも、来年に向けて行っていく予定である。</p>	<p>平成23年度の個別外部監査における報告書の中で、市役所の機能を一カ所に統合させれば、効率的な行政運営が可能であるとの結果となっておりますが、これには当然財源も伴うため、将来の庁舎を含めた施設の統廃合については、個別外部監査の結果を踏まえ、「まちづくり会議」の中でも検討していくこととしております。</p>

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
社会教育課(図書館)	邑久	<p>テレビで、CDなどのレンタルショップと一緒に図書館を運営していくというのを見た。そういったやり方はできないのか。今の図書館は、閲覧室もない。</p> <p>岡山の県立図書館などは、新聞を読むスペースなどにお年寄りの方もたくさんおられる。そういう使い方をしてもらえるのであれば良いと思う。</p>	<p>民間委託や指定管理については、検討はしたが、図書館は、民間に出すのはなじまない施設と考えている。お金をもらって収益を得る事業については、民間に入ってもらっても利益が出ないため撤退するような場合も考えられる。その場合、経営のノウハウを持った人材がいなくなり、一からやり直して、かえって高くつくようなことも考えられる。中身がないものは「ハコモノ行政」と言われる。業者に丸投げするのではなしに、中身のつまった図書館にしていきたい。</p> <p>閲覧スペースや、飲食もある程度できるようにして、皆さんが集まり、一日ずっと居て楽しむことができるような図書館にしたいと考えている。</p>	<p>図書館では、本や雑誌、新聞などの資料の他に、各種音楽CDや名画やドキュメンタリーなどの映像ソフトの収集も視野に入れていきます。赤ちゃんが楽しめる絵本から、子育て中の方たちに役立つ本、仕事に役立つ本やリタイヤして第二の人生を楽しもうというシニア世代の方たちも含めて、様々な世代の方たちがくつろぎ、憩い、そして楽しんでもらえる空間や図書などをご用意したいと考えております。</p> <p>岡山県立図書館のような新聞や雑誌を読むスペースも屋内はもちろん、屋外のテラスなども設けて、みなさんに思い思いの読書やくつろぎの時間を過ごして頂けるよう、施設に工夫をこらして参りたいと考えております。</p>
錦海プロジェクト推進課	邑久	<p>錦海塩田跡地にメガソーラーをするのは非常にいいことと思う。排水や堤防の管理は今後どのようなようになるのか。市がやはりやらないといけないのか。400ヘクタールはメガソーラー、残り100ヘクタールについては、たとえばグラウンドゴルフ場など、市民の憩いの場にしたら良いのではないかと。</p> <p>美作市がグラウンドゴルフ場を作っているが、なでしこが来たら駐車場にして活用されている。</p> <p>高校生ならばフットサル場を作ってほしいとか、年代によって、違った要望も出てくると思う。</p>	<p>堤防の管理は、できれば国や県にやっていただきたいとは思っているが、国や県が管理を行うには、市のために堤防を守るというのではなく、より多くの方のために、というのでなければできない。排水ポンプは、市がやり続けていかなければならないと考えている。ただし、ポンプを動かすのに、年間1,000万円はかかる。土地の賃借料などをすべて市民の皆さんに還元するのではなく、ポンプを動かす費用などにもまわさなければならない。メガソーラーは、まだ、事業者から提案をいただいたところで、まだ市から市民の皆さんにお示しできる段階ではない。グラウンドゴルフ場については、整備しようと思うと2~3億円かかる。ある程度の利用者数は見込めるので維持管理費用は使用料などでまかなえるかもしれないが、整備費用をかけて新たに市が整備するのが適正かどうかという話は当然出てくるだろう。</p> <p>作ったら、維持管理費がずっとかかってくる。作るのと同じくらいみておかなければいけない。</p>	<p>排水については、4月に公表した「錦海塩田跡地活用基本計画」において、跡地内の流下能力改善や排水能力向上のため、中央排水路の河床掘削工事、排水ポンプ増設を対応案として検討を進めています。</p> <p>「錦海塩田跡地活用基本計画」において、地震、津波等の自然災害に対する背後地の防災対策のため、堤防への防潮堤の設置を対応案として検討を進めることとしています。</p> <p>堤防の管理については、堤防の管理手法、管理主体を含め、「錦海塩田跡地活用基本計画」に基づく活用方針を示した上で、県との協議を進めています。</p> <p>引き続き、県との協議を重ね、まず、第一に単なる市の財産である堤防区域が、津波等の被害から防護すべき地域として、法律(海岸法)に基づく「海岸保全区域」に指定され、国からの財政支援がなされるように取り組んでいきます。</p> <p>「錦海塩田跡地活用基本計画」において、塩田跡地は太陽光発電施設と生息する動植物に配慮した自然緑地とする活用方針としています。</p>

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
危機管理課	邑久	<p>災害が来た場合の避難場所について。邑久地区は平野部で、大人数が避難できるような高台がない。</p> <p>自衛隊が来て大々的に訓練をするよりも、地域の方がどう避難するのかといった訓練をした方が良いのではないか。</p>	<p>避難所については、来年度本格的に見直す予定。水が来たら実際に地域の中でどう行動するのかなど、住んでいる皆さんにも考えてもらいたい。</p> <p>今やっているのは、地域の方に実際に集まっていただいて、地図を見ていただいたり実際のまちを歩いていただいたりして、災害が起きたらどうするのかを考えていただくような訓練をやっている。</p>	<p>平成25年度中に津波ハザードマップを作成し全戸配布を行います。その中で避難所の海拔も記載する予定です。危険だと感じたら、なるべく高い場所への避難行動を取るように対処してください。</p> <p>一律で避難訓練をすることは難しい。各自治会、自主防災組織単位で行ってください。</p>
市民病院、社会教育課(図書館)	邑久	<p>病院と図書館は何かの特化した図書館、病院にしてほしい。</p>	<p>病院は、健康づくりと福祉と医療が一カ所で受けられるような地域包括ケアを売りにしたいと考えている。図書館については、情報がいろいろ入ってくる・出ていくところとして、新しい物を吸収しながらしっかりと考えていきたい。</p>	<p><b>【市民病院】</b>                      新病院の計画では、現在の一般病床110床を一般病床40床、療養病床40床、回復期リハビリテーション病床30床に再編しています。一般病床は、病気や怪我を治療する病床で「急性期」の患者を対象としています。療養病床とは長期にわたり療養を必要とする慢性期の患者を対象とする病床です。そして、回復期リハビリテーション病床とは、急性期病院を退院した患者を受け入れ、社会生活に戻って今までとおりの生活ができるようになるために、リハビリ治療を専門に担う病床です。                      また、新病院には医療や介護、保健・福祉サービスの利用などを包括的に支援する総合相談窓口を設けます。</p> <p><b>【図書館】</b>                      図書館は、日々の暮らしに役立つ本や潤いをもたらす本をはじめ、仕事や地域社会の課題に役立つ情報など、様々な資料を揃えて市民の皆さんの「知りたい」、「学びたい」という思いに応えたいと考えております。そうした多様な情報はもちろんですが、当市の図書館が力を入れようとしているのは郷土の資料です。郷土の歴史、文化をよりよく知ることが、瀬戸内市のかげがえのなさや素晴らしさの再発見につながり、市民のみなさんが誇りと愛着をもってこのまちを育ててくれることにつながるものと考えております。他の図書館には例のない、図書と郷土の現物資料の融合的な展示によって、特色ある図書館を目指そうと考えております。</p>
生活環境課	牛窓	<p>古紙の回収が始まって1年がたつ。市の回収分として出していたが、それが町内会の廃品回収に回されていた。特別な政党がからんでいるのではないか。自分達のためだけにやっているのではないか。ある程度の公正さがないと迷惑を被る。</p>	<p>確認してみる。</p>	<p>特定の政党が絡んでいる云々は、市にはそのような情報は入っていません。持ち去りは何例かの相談が寄せられたことがあります。その場合ごみステーションは自治会管理の施設であることから市として注意を促す張り紙を提供するなど側面的な支援を行っています。</p>

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課、錦海プロジェクト推進課	牛窓	<p>自分のところは防犯灯を取り付けてもらってありがたい。ただ、オリーブ園にあるLED 防犯灯が切れており、電気店に見てもらった結果、電線に樹木が接触し、炭化していた。もっと燃えていたら山火事の恐れもあったので、大変危険。枝を10メートル程度切ってもらったが、観光地でもあり、みっともない。県道沿いには柿が鈴なりになっていて、道路に落ちていたため、建設課から所有者に連絡をもらって片づけてもらったが、通学路でもあり、危険である。ツタが電線にからんだり、竹が繁茂したりしているが、牛窓は観光地であり、バス路線だけでも環境整備を行ってもらおうよう、建設課の巡回、県への協議等を検討してもらえないか。</p>	<p>重点箇所を決めて行う必要がある。メリハリをつけないと難しい。県道は県との協議が必要になる。錦海塩田の開発も含めて今後のイメージアップのためにも市ができることは検討していく。</p>	<p><b>【建設課】</b> 県に要望していきます。建設課では市内全域を対象に巡回は行っていますが、市管理道を中心に行っているため、県道等に異常があった場合には連絡してください。</p> <p><b>【錦海プロジェクト推進課】</b> 4月に公表した「錦海塩田跡地活用基本計画」においては、将来的に市の発展につながるよう、メガソーラー発電所を軸とした技術観光の振興などの地域の活性化を目指すこととしています。</p>
総務課、まちづくり推進課	牛窓	<p>総合計画の審議委員をしていたが、職員の育成をどうしてきたのか、また、どうしていくのか。総合計画には、「人と自然が織りなすしあわせ実感都市瀬戸内」「市民の皆様を顧客としてとらえ」という記述があり、顧客志向として指導育成していくということだが、本編には、「未来に輝く人づくり」とある。市として関わるのは行政職員そのものだと思うが、職員が輝きながら仕事をしているのか、そういう体制をとっているのか、非常に疑問思う。どれくらいの職員がやりがいや誇りをもってやっているのか。そういうことが見えたら、自分たちも彼らと一緒にやっという気になる。協働のパートナーというのは上から目線だ。そうではなく、市民から学ぶということが必要ではないか。市長は大学院で学んでいて、知識とか、能力ということも大事と思っているかもしれないが、それより大事なことは人にサービスすることが一番ではないか。こういう不況のときでも市役所は安定している。権力を持っているからつい上から目線になる。そういう上司がずっといたら、若い人が生涯をかけてやっというと思っていても腐っていく。全員が悪いといっているのではない。市長も任期が残っているのであれば、研修等を行っていくべき。まじめにサービスをすることが報われる人事してほしい。</p>	<p>朝鮮通信使行列には感謝している。そのなかで、不愉快な思いをさせてしまった部分もある。コミュニケーションの問題で相手にどのような思いをさせるか考えられない場合がある。電話、窓口の対応にしても、課や職員によって質が違い、向上が今後の課題になる。年をとったり、顔を知ったりするとそういう礼を失う場合がある。田舎の役所の延長ではなく、洗練させていく必要がある。しっかり意見を受け止めながら、接遇の部分を上向きさせていきたい。ユネスコの審査に関わった韓国の大学の総長、就実大学の先生からは、朝鮮通信使は大変素晴らしく、世界文化遺産とするべきではないかというご意見をいただいている。縁地で連携してうまくいったらいいと思う。朝鮮通信使は、世界の歴史から見ても貴重であり、彼らが伝えた平和への思いを繋いでいきたい。御茶屋の跡も大切にしていかなければならないと思い始めている。しおまち唐琴通りだけではなく、対馬などの縁地と連携して、観光客を迎えられたらいい。情報収集をしながらやっていきたい。来年は縁地のイベントを市で行うことになっている。また市民の方にはお世話になりたい。</p>	<p><b>【総務課】</b> 職員の人材育成については、瀬戸内市職員人材育成基本方針に則り、「奉仕の精神を持ち、市民に信頼され共に行動する職員」、「高い知識を持った行政のプロとして、常に成長をめざす職員」という職員像を目指して、職員の研修計画を立て実施しています。また、人を育てる職場風土を作っていく必要があることから、管理監督者の意識の向上に係る研修を推進していくとともに、新規採用職員には、エルダー制度を導入し、先輩職員が実務の指導だけでなく職場生活上の相談役にもなるといった取り組みも導入しています。また、人事管理については、職員の日常勤務や実績を通じ、その業務の成果、達成度合等を客観的にまた公平に評価し、人事管理上の諸決定に活用できるよう人事評価制度の構築を図っていきます。</p> <p><b>【まちづくり推進課】</b> 平成18年2月制定の瀬戸内市自治基本条例の中に、市民の責務として、「市民は、まちづくりの主体であることを認識し、市と協働して地域社会の発展に寄与するよう努めるものとします。」とあります。また、職員の責務として、「職員は、市民との協働の原則に基づき、積極的に地域の課題解決に当たるよう努めるとともに、職務の遂行に必要な知識、能力等の向上に努めなければなりません。」とあります。市民の皆さんと職員が共にしあわせが実感できる瀬戸内市を目指し、努力する必要があると考えます。相互理解と信頼関係を築くよう努めます。</p>

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
経営企画課	牛窓	<p>伝統的な行事、精霊流しなど、だんだん見捨てられて行っている。長船、邑久と合併して、全体的なバランスとして、切り捨てられるかもしれないが、情操教育として必要ではないか。関町なら90軒200人から出てきて、先祖を送る行事に参加してくれる。それぞれの町の差をつけていくことも必要ではないか。</p>	<p>まさに合併の弊害である。合併すると地域の個別事情は切り捨てられる。今考えているのが、まちづくり会議のなかで、地域の活性化、財政の問題もあるが、地域に分権していくところには、お金と権限を下すことを考えなければならない。そのなかで、精霊流しにはお金をつける必要があるとかそういう話もでてくる。地域の中でのルールを決めていくことも考えている。ただ、その地域の単位を考えて行く必要はある。問題としては考えており、前向きに検討していきたいがもう少し時間がほしい。</p>	<p>瀬戸内市まちづくり会議「地域活性化部会」において、地域活動への助成制度や各種団体への支援等、地域の伝統文化の継承が困難となっている案件や人口減少に伴う伝統行事の存続問題など地域の課題解決に向けた方策を地域の住民で出しあい、解決に結びつけるための地域独自の取組の支援を検討しています。</p>
危機管理課	鹿忍	<p>巨大地震が来た場合、牛窓町のこのあたりの被害予測が出るのはいつ頃か。</p> <p>牛窓町の海岸は全部浸かることになる。逃げる段取りが必要になる。今年度中に避難計画は作成されるのか。また、避難場所として西小学校を考えていない。山の上に逃げる。東小も現在の場所で大丈夫なのか。</p> <p>新しい場所に建てるということになると、西小学校はどうなる。</p> <p>一つの教室に緊急用の食料などをいれておけば高齢者もくる。</p>	<p>県が現在検討している。</p> <p>作成される。3月中には変わり、地図も同様に作成される。避難場所をもう一度見直そうという話も出ているので、来年以降考えていく。それぞれの地域と一緒に考える必要がある。東小学校は、元々耐震化する方針だったが、建て替えと同じ程度の費用がかかることが判明したため、建て替えを選択した。高台に建てるという意見もあったが、体育館の耐震が既に終わっており、現在の場所だと7億円程度かかる。これを新しいところに新設すると15億円程度かかる。</p> <p>統廃合の問題も出てくる。保護者にしても安全な校舎で授業を受ける方が安心できる。津波が来ても新しい小学校の3階に逃げれば助かる可能性もある。また、将来子どもの数が少なくなったときのことも考え、高齢者が利用できるなどエレベーターの設置も考えており、他の目的にも利用できる施設として設計している。牛窓の小学校の統廃合は、今のところ市の中で話はない。</p> <p>そうだと思う。</p>	<p>岡山県が被害想定について検討しているが、鹿忍だけの被害というようなものはありません。</p> <p>新しい津波浸水想定図を基に住民ワークショップを開催し、津波避難場所・避難路等の見直しを考えています。また、ハザードマップを作成し、避難所の海拔についても記載を考えています。</p> <p>緊急用の食料等の備蓄計画については、平成24年度から5年計画で進めています。全ての学校に備蓄品を配備することはできませんが、毛布のみ牛窓・邑久東・邑久西・長船の各地域に最低1箇所は分散配置をしています。</p>
経営企画課	鹿忍	<p>SECの跡地をスポーツ施設等に利用し、全国から客を呼んではどうか。</p>	<p>民俗資料館跡を更地にし、SECの隣地をまず活用していくことも考えているが、手順を踏んで行く必要がある。</p>	<p>SEC跡地をはじめ、市内には民間企業の保有する遊休地がありますが、その跡地の今後の活用方針については、当然所有者である企業とも様々な方向で話し合っていきたいと考えています。</p>

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
健康づくり推進課	鹿忍	保健福祉部の行事、健康フェスタなどだいたい長船である。鹿忍からだ坂を上らなければならない。3分の1でも牛窓でやってもらえたら。講演会など、外へいくことを求めるのならば、もう少し考慮してほしい。	去年、一昨年、健康フェスタは牛窓でやった。ただ、確かに講演会などはゆめトピアが多い。行きにくいということを感じているのは確か。近いところで参加できるいろんな行事を作っていくよう検討していく。	福祉フェスタ(福祉課)、子どもフェスタ(子育て支援課)、健康フェスタ(健康づくり推進課・いきいき長寿課)と3つの大きな行事がありましたが、平成24年度からは保健福祉フェスタとして市民の皆さんが一同に会するふれあいの場として規模を大きくし、一本化しました。このことから駐車場や施設等を考慮し、ゆめトピア長船で開催しています。健康づくり講和や講習会、介護予防教室は、地域の公民館や集会所で行っていますので是非ご参加ください。
錦海プロジェクト推進課	長浜	錦海塩田跡地につくるメガソーラーは、地震が起きたらどうなるのか。大丈夫か。 堤防があっても、高さがあるだけではいけないのではないか。	われわれは土地をお貸しする立場なので、事業者の方がどう考えるのかというところではある。現在、津波ハザードマップでは、錦海塩田跡地は被害を受けるところになっている。しかし、これまでは、堤防が民有だったので、ないものとして考えられていたが、実際には、通常の津波であれば、耐えられるだけの高さはあると見ている。  レベル1(普通より強い)地震であれば、十分もつと考えている。しかし、東日本大震災レベルの津波が来たらたないかもしれない。国の指針でも、レベル1の地震には耐えられるような堤防にすることが求められている。それ以上の津波がきた場合には、まず逃げるという考え方でいく必要がある。また、堤防はあっても師楽と玉津港が低いので、そこから水が入ってくることも考えられるので、その対策をどうするのか考えていく必要がある。	4月に公表した「錦海塩田跡地活用基本計画」において、地震、津波等の自然災害に対する背後地の防災対策のため、堤防への防潮堤の設置を対応案として検討を進めることとしています。  万一、自然災害でソーラーパネルが被害を受けた場合でも、事業リスクが生じないよう事業者が保険に加入し、保険で担保することになります。
総務課(選挙管理委員会)	長浜	岡山県知事選挙の期日前投票に行った。職員が3人、立会人が3人おられて、しかも人はあまり来ない。決められていることなので仕方ないのかもしれないが、毎日会場を開けておく必要はないのではないか。例えば、月・水・金は牛窓、火・木・土は長船といったことはできないのか。・選挙ポスターの掲示板は全部県道に向かって立てているが、地元の人に見ていただくのであれば、住宅がある側に向けて立てた方がいいのではないか。  中に向けたら、一部の人しか見られなくなるのではないか。  選挙区ごとに何カ所というのが選挙管理委員会で決まっているはず。合併で掲示する場所は減っているが、見たい人は見るのだから良いのではないか。	立会人も職員も、最低3人ずついなければならないことになっている。  見えるような場所へ設置できるよう工夫できるかどうか、検討する。	公職選挙法の規定により、期日前投票所においては、投票管理者1名、立会人2名を選任しなければならないとされています。職員数の規定はありませんが、投票については、天候や時間帯によって、投票者が混雑することがありますので、受付係、名簿照合係、投票用紙交付係等最低限必要な人員の確保は必要であると考えています。 また、期日前投票所については、開いていないといけない日数、時間が定められていますので、必ず1箇所は規定を満たす必要があります。今後、市民からのご意見等をお伺いしながら、支所・出張所の日数制限等については検討していきます。 選挙ポスターの設置箇所数については、各投票区の面積・人口に合わせて一定の設置規準がありますので増設はできませんが、設置の向き等については、各地域の行政委員等からご意見をいただき、随時調整していますので、今後も状況に合わせて工夫していきたいと思っております。

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	長浜	<p>市のことではないと思うが、小野島神社のお宮さんの反対側の木が県道にかぶさるようになっている。大型バスの屋根にひっかかりそうで、障害になっているようだ。</p> <p>木の問題はいろいろなところにある。あじさいの丘から農面道に出る道も同じ。また、農面道も木が茂っているところがたくさんある。</p> <p>市道の草も同じ。また、県道はしているが、市道は、清掃を全然しないので、余計に土がたまって草が生えやすくなる。先日の寒風まつりをするにあたって、地元で草刈りをした。合併前には町から委託を受けて、年2回草刈りをしてきたが、市になってからはお金がないということで年1回になった。そうすると、自分たちでしなければ仕方がないが、自治会の皆さんに声を掛けてというのも難しいので、自治会の役員が出てやるしかない。清掃車を走らせて砂をとるだけでもやってほしい。</p>	<p>できるかどうか考えたい。</p>	<p>県道なら県民局に要望します。</p> <p>農免道の草刈は、7月に業者委託しました。その後、通行に支障のある枝木伐採を行います。</p> <p>予算の関係で、地元の自治会に委託するのが年1回になっております。県道が行っているような清掃車は、市道では計画しておりません。</p>
建設課	長浜	<p>津行から粟利郷に行く道で、拡張をずっとお願いしている箇所がある。前任者が申請したという話だが、全然拡張されない。ガードレールも路肩に曲がってついているので、人が落ちるおそれがある。しかし、要望をしても道路工事はやっていない。今は汚水工事ばかりだ。</p> <p>声大きいところだけをやるのはおかしい。さきほどの箇所は、地主さんとも今であれば話がつく可能性が高いのではないかと、という話もある。事故が起きてからでは遅い。</p> <p>何回も出したらやってもらえるのであれば、何回でも出すが。</p>	<p>要望は、毎年出してほしい。好ましいことではないけれども、地元から声が挙がってくるところというのは認識しやすい。</p> <p>要望書の扱い方についても、今のやり方については考える必要はあると思っている。昔あげたはず、という話はどこかしこであるが、今は年中受け付けているので、今年できるとか、来年になる、といった話もできない。出てきた要望が積み重なって行って、十分に優先順位付けができていない部分もあると思うので、そのあたりは見直しをしなければならぬと考えている。</p> <p>一度建設課に相談に来てほしい。</p>	<p>今年度、設計を実施しています。来年度、引き続き工事を行う予定です。</p>
建設課	長浜	<p>去年台風12号が来たが、最近、ゲリラ豪雨も多い。開墾で畑を作っているが、よく浸かる。ポンプではさばききらないからか、出口が狭いのか、理由はわからないが、なんとか対策をお願いしたい。</p>	<p>ポンプの容量が足りないとは思っていないが、水路が水を流しきれないのかもしれない。排水対策はしっかりやっていきたいと考えている。</p>	<p>長浜干拓内の直排水路の草刈等農家の方がされております。安田堤防の沖に中央排水路がありますが、勾配が緩やかでポンプのある遊水池まで2.5kmもあり、水が流れませんので浸かるということですので。引き続き検討となります。</p>

平成24年度「瀬戸内タウンミーティング」で寄せられた意見への対応状況

担当課・室	地区	意見	市長の回答	対応状況
建設課	長浜	<p>少し強い雨が降って、国塩で、個人の横の家のそばの細い道が崩れて、片づけには来てくれたが、ブルーシートをかけ、コーンを置いてそのままになっている。また、申請が出ている分については、きちんと見に来てほしい。</p>	<p>崩れてそのままの場所があるという点については、担当課に伝える。要望書の扱い方についても、見直していきたい。</p>	<p>当箇所については修繕工事実施済です。要望書が出てきている箇所について現場確認は行っています。</p>